

高齢者いきいき通信



地域包括支援センターだより

令和7年5月6日発行

困ったことがあったら、地域包括支援センターにご相談ください

地域包括支援センターは、高齢者に関するよろず相談窓口です。保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士などの専門職が配置されています。介護のこと、健康のこと、虐待のこと、財産管理のことなど、相談の内容に適した情報提供や助言を行います。

地域包括支援センターではこんな仕事をしています



伊那市地域包括支援センター

専門職が互いに協力しながら「チーム」として総合的に高齢者を支える支援をしています。

【スタッフの職種】

主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士・理学療法士
その他、必要に応じ歯科衛生士・栄養士 など



認知症になっても安心して暮らせるように認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員を配置し、認知症の早期発見・早期対応等により、住み慣れた地域で暮らし続けられるような体制づくりを行います。

介護予防ケアマネジメント要支援1・2と認定された方等の介護予防サービス・支援計画書を作成し、一定期間後に効果を評価します。

介護予防、健康づくり
65歳以上のすべての高齢者を対象に、身近な場所で生きがいを持って生活できるように支援します。

なんでもご相談ください

高齢者の皆さんやそのご家族等から、介護に関する悩み、健康や医療、福祉などさまざまな相談を受け付けて対応しています。

権利や財産を守ること

- ・悪質商法や振り込め詐欺等による被害の防止
- ・成年後見制度の紹介、活用
- ・高齢者虐待の対応
- ・遺言作成などの相談

暮らしやすい地域のために介護に携わる方々（介護支援専門員）への支援や助言、医療機関等との調整をします。医師会等との連携により、在宅医療・介護の一体的な提供ができるような体制を整えます。また、さまざまな機関とのネットワーク作りをしています。



もしもの時の備えとして



伊那市では、ひとり暮らし高齢者や寝たきり高齢者・障害者等の状況を把握するために、民生委員にご協力いただき保健福祉支援カードを作成しています。記載された情報は市役所で管理され、救急搬送時の連絡対応・災害発生時の避難支援等に活用されます。興味のある方は民生委員、もしくは伊那市地域包括支援センターまでご相談ください。

救急医療情報キット



希望者にお渡しをしています。このキットは、普段は冷蔵庫に保管しておきます。例えば救急搬送など万が一の際に、病歴や内服薬等の必要な情報を正確に支援者に伝えるものです。

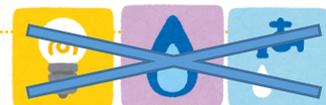


携帯用緊急連絡先カード



同様に希望者にお渡しをしています。これは運転免許証サイズのカードです。財布に入れるなど携帯しておき、万が一の際に発見者が適切な処置や通報を行えるようにするものです。

——災害と行政——



災害は、人間の想定をはるかに超える被害をもたらします。道路やライフラインが寸断され、窮地に陥るかもしれません。あるいは、携帯電話が使えず、通信手段が無くなるかもしれません。皆さんはそうなった時にどう命を守りますか。

大規模な災害が発生した場合、一般的に行政機能は麻痺すると言われています。復旧まで数日かかることもあり、迅速に被災者まで支援が届かない可能性も考えられます。よって、公助が期待できないことを想定し、自助・共助をよくよく考える必要があります。

先述した保健福祉支援カードの内容をみると、災害発生時の避難行動などを記載する項目があります。自分の命を自分で守るためにできることは何か、考えるきっかけに是非ご活用ください。



伊那市地域包括支援センター

電話 78-4111

(福祉まちづくりセンター 福祉相談課内)

内線 2353・2359・2360

みすず支援センター (美篤きらめき館内)

電話 73-7829

西みのわ支援センター (西箕輪ぬくもり館内)

電話 72-7692

はるとみ支援センター (春近郷ふれ愛館内)

電話 74-8505

高遠町包括支援センター (高遠町市民福祉課内)

電話 94-3688

長谷包括支援センター (長谷市民福祉課内)

電話 98-1144

